

裁判員等経験者との意見交換会



開催概要

開催日：令和6年2月28日（水）

場 所：神戸地方裁判所姫路支部

参加者：裁判員等経験者3人、裁判官2人、検察官1人、弁護士1人

裁判員裁判に参加した全般的な感想

- 裁判員裁判の存在は知っていたが、まさか選ばれると思っていなかったし、どんなことをするのかも全く知らなかった。自分の地域で起こった犯罪について、みんなで考えることの大切さが分かり、有意義だった。これまで犯人が逮捕されたところで関心が終わっていたが、参加してみてその後の裁判の仕組みを肌で感じることができ、衝撃があった。
- 最初は何をしていいか分からなかったが、うまく意見を引き出してもらえたので、安心して自分の意見をうまく言うことができた。事件の背景や被告人の生い立ちを知ることで、事件のことについて、深く考えさせられた。人を裁くことは重いことだと感じたし、迷いもあったが、みんなの意見を聞きながら話し合いを進めることができ、非常に勉強になった。
- 裁判員に参加することは自分には関係のないことだと思っていた。心の準備がないまま参加したが、裁判の進め方や言葉について丁寧な説明があったので、経験してみてよかったと思う。普段は人の考えを聞く機会がないが、参加することでいろいろな人の意見を聞くことができ、納得させられるような意見もあった。このような機会がもらえてよかった。



審理について

Q 冒頭陳述、論告、弁論や証拠調べは分かりやすかったですか。

A 口頭の説明だけではなく、イラストなども用意されていて、ビジュアル化することができたので、頭の中で整理することができた。

専門的な知識はなかったが、疑問に感じたところはその都度丁寧な説明があったので、困ったことはなかった。

これから裁判員になられる方へのメッセージ

○ 選ばれたときは驚きもあったが、やりがいを感じたし、社会に貢献できていると思った。精神的につらい部分もあるかもしれないが、裁判官含めみんなが地域の事件について考える貴重な経験になった。機会があればぜひ参加していただきたい。友達など周りの人にも参加してみてよかったですと伝えた。

○ 被告人の人生を決める判断をすることや自分が間違えていたらどうしようなどと考えると最初は嫌だと思った。被告人や被害者に寄り添っているか葛藤もあったが、普段経験することはないことだし、最終的には参加してみてもよい経験になった。自分自身も物事を考える際、思慮深くなったように思う。

○ 選ばれたときはどうしようかと思ったが、終わってみれば貴重な経験ができたと感じている。裁判員裁判が終わってから、自分が何か決めるときに、これで本当に大丈夫かな、あのときの他の人たちだったらどういう意見かななどと考えることもある。スケジュールが決まるのが急だが、一生に一回あるかないかの経験だし、裁判で刑をどうやって決めているのかが分かると思うので、都合が合えば経験してみてもほしい。傍聴席から裁判を見ることはあっても、反対側から傍聴席を見ることは二度とないと思うので、良い経験になると思う。

◎貴重な御意見をいただき、ありがとうございました。

神戸地方裁判所姫路支部

兵庫県姫路市北条1丁目250番地